

ムナグロ（チドリ科） 全長24センチ

今年も同じ季節、同じ場所にムナグロが飛来した。その数約60羽。

日本には春と秋に越冬地と繁殖地を移動するときに、休憩、採餌のために中継地点として通過する旅鳥です。遥か南の東南アジアやオーストラリアなどから長距離を渡って来たものです。昨年と同じ田んぼに再びピンポイントで訪れてくれました。



胸元から下腹部にかけて黒いので、名前の由来となりました。

ムナグロが降り立った田んぼは、羽の色が周囲の風景に溶け込み、動かなければ何処にいるのかわかりません。名前のように胸から下腹部まで黒いのが夏羽です。胸から脇腹が淡灰褐色で、冬羽から夏羽へ移行中の個体もいました。



こちらは冬羽から夏羽に移行中。



緑の畦道では、はっきりと目視出来ました。

昨年は10日間ほど滞在してくれましたので、もう少しの期間楽しめそうです。



翼の下は模様がありません。



土の中から細長い虫を引っ張り上げ飲み込んだ。